



ヨルダン!



2022-1 次隊 岡崎 友里

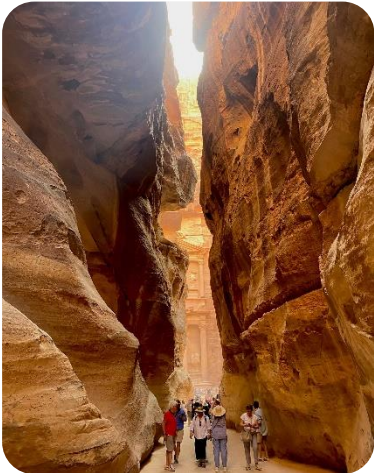
〇〇〇遺跡へ行ってみた!

ヨルダンといえば、有名なのがペトラ遺跡!あの「Indiana Jones」の映画ロケ地としても有名な遺跡です。実際に訪れてきました。また、ペトラ遺跡で活動する隊員もいるのでその活動も一緒に紹介します。



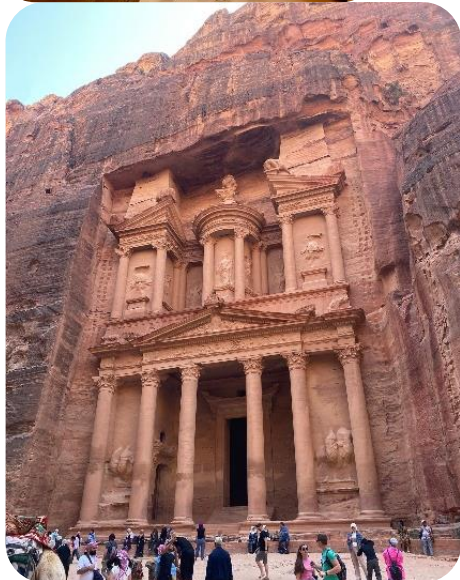
ペトラ遺跡は、3作目「最後の聖戦」の中で、最後の晩餐でキリストが使った聖杯を探して、ナチスドイツとインディアンが「三日目の谷」と呼ばれる場所を訪ねる場面で登場します。インディアンが神殿に入るシーン…実は撮影に使ったのは外観のみで、映っていた神殿は、実際はお墓だったそうです…。3作目だけでもぜひ鑑賞してみてください。

ペトラ遺跡は、ユネスコ無形文化遺産に登録された世界遺産です。「ペトラ」は、ギリシャ語で「崖」を意味しています。2000年以上前(日本は弥生時代ごろ)に定住したアラブ人の一族ナバテア人が切り立つ岩壁を削って建てた大都市です。かつて、商業や交通の要地として栄え、古代東方文化とヘレニズム(ギリシャ)文化との融合が見られる建造物や彫刻が多くありますが、何の目的で作られたかもはっきりしないものが多く、謎に包まれています。



ペトラ遺跡の中心部へと導く峡谷(シーク)は、幅2m、長さ1.5kmあり、両側の絶壁は90~180mの高さで、地質断層が見られます。

岩肌は、日の当たる角度によって色が変わり、時期や時間によって異なった雰囲気を見せます。現在は水が流れていませんが、両側の絶壁には水路の跡が見られ、シークが主要な交通路だったことがわかります。また、壁には祈禱用の碑や彫刻、霊石などが見られ、「シークには訪れる人を魂の内部に導く」という宗教的な意味もあったと考えられているそうです。



シークの終わりは一段と狭くなり、切り立った絶壁の間からエル・ハズネ(宝物殿)が姿を現します。エル・ハズネは高さ約40m、幅約25mあり、紀元前30年~9年の間に建設されたと考えられています。住民の間では、エジプトのファラオの宝物が隠されていると信じられていたのですが、実際は内部に何も残っていないため、神殿として使われたのか、王の墓だったのか分かっていません。現在は中には入れず、外から内部を覗くのみです。この建物には、ヘレニズム文化の影響を受け、コリント様式やなど、様々な建築様式が使われていることから、当時、この地域がギリシャ、エジプト、シリアなど、様々な地域の文化の影響を受けていたことがわかります。

こんなにも大きくて立派なものを当時、わずかな道具(のみと金づち)で岩を掘って作ったと考えたらさらに驚きが増します。

そんなペトラで活動中の隊員は…

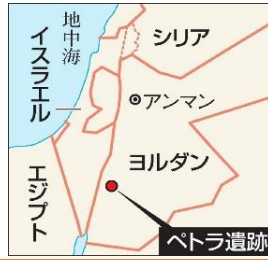
ラーミズさん。長野県出身。現在の趣味は、ヨルダンのカフェ巡り。最近は自然とショート動画作りにハマっている。お気に入りのアラブ料理はマンサフとモロヘイヤスープ。

ラーミズです。

(アラビア語の名前です。)



ラーミズさんは、首都アンマンから車で約4時間離れたペトラに近い街で生活し、活動しています。



@VISIT_PETRA

スキャン



またはクリック!

ヨルダン国内外の観光客に向けて情報発信をしたり、実際に来てくれた方に直接ペトラの魅力伝えたりしています。



JICAの支援(約7.84億円)で建てられた博物館があります。



スキャンまたはクリック!



道中撮影写真～
移動は馬やロバ、ラクダ
昔の門番さんの衣装を着た人
長い道を歩いた先にある景色たち



暑くて…大変でした…



ローマ円形劇場



エド・ディル(修道院)

エル・ハズネ(宝物殿)からさらに奥にファサード(岩山に作られたお墓の正面や側面)が見られ、それらが連なるファサード通りと言われる道を進むと、ローマ円形劇場、臺地群、凱旋門などが現れます。凱旋門の周辺は、ローマ時代には街が形成されていて、王家の墓や神殿があったと考えられています。ファサードの最終地点は山道へと続き、ここを登るとエド・ディル(修道院)に着きます。エド・ディルは標高1,000mに位置し、900段以上の階段を登り切ったところに現れる姿は圧巻です。エル・ハズネ(宝物殿)に似た建築様式ですが、エル・ハズネより一回り大きく、高さ約45m、幅約50mあります。他にも魅力はたくさん!間違いなく、一度は訪れてほしい場所です。

Let's talk in Arabic のスペースが無くなっちゃいました。では、また次回! مع السلامة



イラ!

2022-1 次隊 岡崎 友里

しんねんと 新年度スタート!

みなさん、2学期が始まりましたね。夏休みはどう過ごしましたか？充実した夏休みを過ごし、気合十分に新学期を迎えたことと思います。

さて、ヨルダンでの生活も2年目に突入し、2回目の夏を過ごしました。強い日差しと熱風を感じる暑い日乗り越え、新年度を迎えました。つまり、進級・進学をして新しい1年が始まったのです。今回は活動する2つの学校の新年度の様子をお伝えします！



女子には制服があり、小学生は青色、中学生は緑色を着ます。



制服の他に、かばん、文房具、ノート、水筒などがたくさん並んでいました。



ドキドキの初日、学校へ行ってみると、運動場に多くの子どもとその保護者が集まっていました。子どもたちは久しぶりの学校で友達や先生に会って興奮気味、先生はそんな子どもたちに学年ごとに並ぶように声をかけ、保護者は自分の子がどのクラスかを先生に尋ねるなど、混沌とした様子が見られました。落ち着くことなく、高学年の「クラス替え」と「担任発表」が流れるように行われました。それも体育専科の先生が子どもの名前を一人ずつ呼び、「あなたたちは5年生の〇〇先生のクラスです。」という発表の仕方でした。低学年は担任の先生が子どもの名前を呼んでいました。先生たちが確認している名簿をよくよく見ると、白い紙に一人一人の名前が手書きで書かれているではありませんか！聞いてみると、様々な事情で当日、あるいは数日後に初めて登校してくる子が複数いるため、その都度名前を書き加えて調整できる手書きの方がより都合がよいようです。日本では見ない光景になかなかの衝撃を受けました。



最初の1週間は、慌ただしく時間が過ぎました。日本と同様に新しい教科書が配布され、英語と算数の授業はありましたが、普段より1時間少ない時間割が組まれていました。基本的な学校や学級での約束事を確認する学校生活に慣れるための時間が多くありました。



こんなことが!!

教科書配布をお手伝いしながら、教科書が入っていた段ボールを畳んで一つにまとめていると、「うわあ！さすが日本人ね！すごいわ！」と先生たちに褒められました。自分にとっては何の気なしにしたことだったのですが、先生たちにとっては新鮮だったようです。意外な反応に授業以外の場面でもできることや伝えられることはあると感じました。



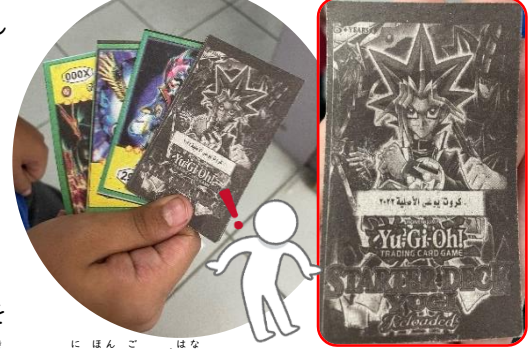
No.10で紹介した「アサーシーエ小学校」とは別の曜日に活動している「ハディージャ小学校」での朝礼の様子。国歌の前奏が流れる間には、動きを止め、国旗に向かって姿勢を正します。その後「بجى الاردن」（意訳：ヨルダンよ繁栄あれ！）と3回唱えて国歌斉唱します。



2日目からは、去年と同様に「朝礼」から1日が始まりました。ちなみに、9割がムスリム（イスラム教徒）のヨルダンでは、イスラム教徒の子のほとんどが公立学校へ、キリスト教徒の子は教会付属の私立学校へ通っています。つまり私の活動する公立学校にはムスリムの子が通っていて、毎日の「朝礼」の中で、国歌を歌った後コーランの一節を詠みます。その後、先生からの連絡や児童の数名がコーランの暗唱があり、時期によっては行事に合わせた出し物の

発表があります。宗教が生活に大きく関わっているからこそ、幼いころから学校でしっかりとコーランやイスラムについて学習します。しかし、先生の中にはキリスト教徒の方もおり、コーランを詠む間は、黙ってそれを聞いています。周りにコーランを詠むように強制する人はいません。それぞれの宗教の違いを認め合っているからこそだと思います。

No.11で紹介した、朝食を食べる長い休憩時間（フルサ）には、多くの子が外へ出ます。学校にある売店でジュースやスナック菓子を買ったり、家から持って来たパンやフルーツ、野菜を食べたりします。食べ終わったら友達と話したり、遊んだり好きに過ごします。私も一緒に休憩していると、一人の男の子が「見て～！」と嬉しそうにカードを持って近づいてきました。手に持っていたのは「遊戯王カード」です。驚いている私に「これって日本のカードでしょ？」とニコニコどこか得意げでした。



2年目の今年度、去年とは違って初日から名前を呼んで挨拶してくれる子がいたり、日本人だと認識して日本語で話しかけ

くれる子がいたり、日本と関わりのあるものを見せてくれる子がいたり、とても嬉しかったです。一方で、今年度、私は3月までの任期のため、最後まで子どもたちと関わることができない寂しさもあり、限られた時間でできることを頑張ろうとより強く思いました。



Let's talk in Arabic ♪

今回は、新年度にちなんで、学校には欠かせない文房具のアラビア語を学びましょう。

えんぴつ ペン قلم 読み方: カラム	ものさし مسطرة ミスタラ	はさみ مقس ミカス	消しゴム محاية マツハーヤ	のり صمغ サメグ	筆箱 مقلمة マクラマ
-------------------------------	-----------------------	-------------------	------------------------	------------------	---------------------

みなさんは文房具の準備はばっちりでしたか？一つ一つに記名も忘れずに！文房具を使う時、アラビア語ではなんて言うんだっけ？とぜひ見返してください。そしてヨルダンの子どもたちのことを想像してもらえると嬉しいです。世界には日本とは違う時期に新年度を迎えて、勉強をしている子どもたちがいます。そんな知らない世界や異なる世界のことを考えるとワクワクしませんか？2学期もそんなワクワクにたくさん出会えますように☆文房具だけでなく、ものを大切にしながらしっかり学習してくださいね！

では、また次回! مع السلامة



2022-1 次隊 岡崎 友里

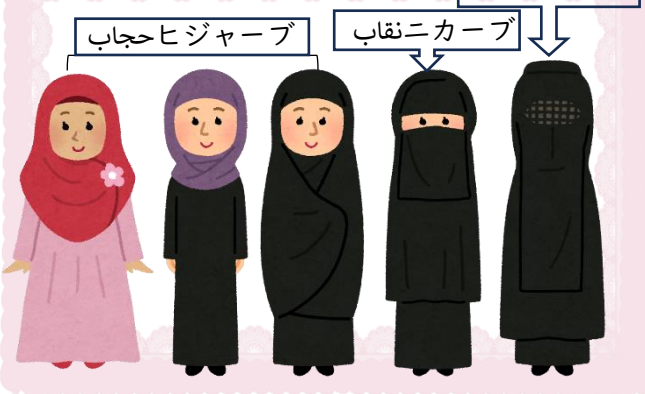
それぞれの結婚式

以前、ヨルダン中が盛り上がったフセイン皇太子の結婚式についてお伝えしました。今回は、学校が夏休みの間、友人の親戚の結婚式へ招待してもらい、一般的な結婚式を目にすることができたので、昨年10月に招待してもらった基督教の友人の結婚式と比較しながらお伝えします。

ムスリム（イスラム教徒）の女性は家族以外の男性に肌や髪を見せてはいけないという戒律があるけど、結婚式ではどうやって過ごすんだろうという疑問を、実際に参加して解決することができました！（ただ、家庭や信仰によって違いがあるので、全ての結婚式や披露宴が同様の内容というわけではありません。）



ムスリムの女性の服装




まず、ムスリムの女性の服装は、肌や髪が見えないよう露出が少なく、体の線が出ないものと「戒律」（コーランに記載されている守るべき生活規範）があります。そのため、外へ出る時には特に髪や顔を覆い隠す布を身に着けます。ヒジャーブは「覆うこと」「隠すこと」を意味するアラビア語です。宗教の捉え方や国によってその特徴や身に着け方に違いがあり、それぞれの呼び方が少し異なります。ここで紹介するのはヨルダンの友人に聞いた身に着け方とその呼び方です。ただし、現代においてムスリムでもこれらの布を身に着けないという女性もいます。

宗教	イスラム教徒	基督教徒
開催場所	広いパーティー会場 男女が分かれて過ごします。	新郎の家→新婦の家→教会→（パーティー会場※日本で言う披露宴？） 男女一緒の場所で過ごしました。
服装 (参加者)	男性：タキシードやスーツ、伝統衣装、Tシャツやジーンズ …何でもOK！ 女性：女性だけの場所では、髪や顔を覆うヒジャーブなどを外し、ドレスや伝統的なアラブ服を着ていました。	女性はドレスを着た人が多めですが、男女ともにスーツや正装といった日本とあまり変わらない服装でした。
服装 (新郎新婦)	新郎：白いタキシードのような服装。 新婦：新郎以外の男性の前では髪や腕も覆うカバーを付ける伝統的な衣装 日本の和装で裾の「綿帽子」に似ていました！日本でも挙式が終わるまで新郎以外に花嫁の顔を見られないようにする意味があるそうです。	新郎：タキシード 新婦：白いドレス 日本の洋装での式同様、新婦のボールを新郎が上げていました。
食事	ケーキ（甘いもの）、水、ジュース（食事があることも） ※アルコールを口にすることは禁じられています。	甘いお菓子、おつまみ、食事（カブセというご飯と鶏肉の料理）、アルコール飲料

イスラムの結婚式は実は2日間あり、1日目と2日目で内容が異なるそう。私がお邪魔したのは2日目の式でした。

日本の教会での式とほぼ同じ！！

式の流れ

- ①新婦入場／新郎入場。 ※部屋は別々
- ②音楽に合わせて歌う・踊る。 ※男女それぞれの部屋で (女性の場合は特に決まったダンスがあるわけではなく、曲調や歌詞に合わせて好きに踊っていました。男性の場合は「ダブケ」というラインダンスや並んで手拍子をするそうです。)
- ③新郎入場 ※参加者の女性たちは、事前のアナウンスを聞いて、それまでは外していた布を身に付け、髪や顔を覆います。
- ④指輪の交換

 婚約した時お互いに相手の右手の薬指に着けた指輪を左手の薬指へ付け替えます。この時、右手と左手のそれぞれの薬指を合わせて、指が離れないように右手から左手に移動させ、結婚指輪になります。
- ⑤参列者(男性)入場、全員で歌う・踊る。
 ※ここで初めて男女一緒になります。
- ⑥新郎新婦退場

①新郎新婦入場

②讃美歌斉唱

③式辞

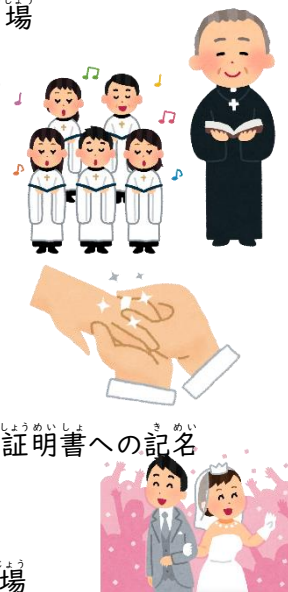
④誓約

⑤指輪の交換

⑥結婚宣言・証明書への記名

⑦結婚報告

⑧新郎新婦退場



男性が部屋に入る前には必ず司会者のアナウンスがあり、会場には女性たちが布を身に着けるための鏡が多く設置してありました。

初めて目にしたイスラム教の結婚式、男女別に進行したり、所作が異なったり、新鮮でした。また、驚きなのは、ヨルダンでは新郎が新婦のために結婚指輪や新居、新車などを用意し、その他結婚にかかる費用を全て支払うことです。「経済力の証明」とはとっても車や新居、そして新居での家具、結婚指輪以外にもブレスレットやピアス、ネックレスなどもプレゼントすることが多く、結婚するって大変だなと感じました。ただ、どちらの式でも感じたのは、ヨルダンの人たちは宗教関係なくダンスや歌が大好きな人が多く、ムスリムの女性も普段は布で覆っていますが、女性だけの部屋で大音量の音楽の中、好きな服を着て、思うままに自由に踊りまくって、大盛り上がりでした。貴重な経験をさせてもらい、純粋に楽しい時間を過ごしました。

これがアラブ音楽だ！ 結婚式やお祝い事で定番の音楽たち♪雰囲気味わってみてください。

QRコードをスキャン または、クリック！

これが歌えたらヨルダン人！

ダブケの定番

伝統楽器の音楽隊が盛り上げる！

Let's talk in Arabic ♪

今回は、結婚式に関わりのあるアラビア語を紹介します♪将来、役立つかも？！

新郎 عريس 読み方：アリス	新婦 عروس アロウス	結婚式 العرس アルオロス	ドレス(スカート) فستان フスターン	スーツ بدلة バドラ	指輪 خاتم ハーティム
-----------------------	--------------------	-----------------------	-----------------------------	--------------------	---------------------

細かいことですが、女性のドレスの形によって少し呼び方が違います。今回は紹介できませんが、以前紹介した刺繍の入ったきらびやかなものが多く、形は異なってもどれも美しいのはいうまでもありません。日本人からすると少し派手かな…と思うようなデザインでも、こちらの人たちは好んで着ます。さらに女性たちが身につけるヒジャーブにはたくさんの色があり、人によっては洋服に合わせて選べるように数えきれないほど持っていて、新しい服を購入したらその服に合わせてヒジャーブも新調するほど、女性たちはおしゃれな印象です♪

では、また次回! مع السلامة



2022-1 次隊 岡崎 友里

平和をつなぐ日本とヨルダン

1945年8月6日、広島に原子爆弾が落とされました。その日から78年が経ちます。日本の終戦から1年後の1946年にヨルダンは独立し、77年が経っています。以前からお伝えしてきたように、ヨルダンでは、日本に対して「礼儀正しい」「日本製品は質が良い」などの好印象が多いです。その他によく耳にするのが、「アメリカによって原爆が落とされた国」です。「日本のどこから来たの？」と聞かれるので、私が「山口県から来たんだ。」と説明すると、「それって日本の北の方？南の方？」とさらに聞かれるのですが、「広島県の隣の県から来たんだよ。」と説明すると、「あ～広島か！知ってるよ。」と認知度が上がります。「どうして広島を知っているの？」と聞くと、「アメリカに原爆を落とされた場所だから知ってるさ！」「広島とそれと、長崎だろ？」という答えが返ってくるのです。ヨルダンの人たちにとっても、衝撃的な出来事であり、そんな過去から現在まで復興を遂げたことに対して、日本人の精神や行動に驚きと尊敬の念を語ってくれます。



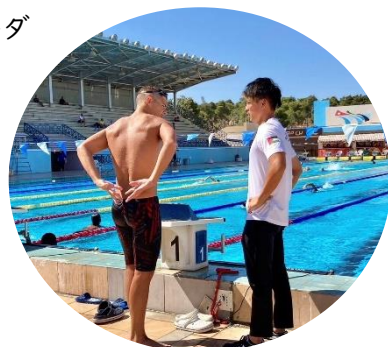
ヨルダンの周囲には、現在も争いが続き、人々が安心して生活することが難しい国があります。ヨルダンは、近隣の国々を含め、世界の難民の多くを受け入れ、中東地域における平和と安定の重要な役割を果たしています。それぞれの時を経て築かれた現在の日本とヨルダン、平和な世界の実現に向けて、とても重要な立場にあります。何より、今の私のように協力隊が活動できるのも、平和であるからこそだということを忘れてはいけなく改めて考えさせられました。

さて、現在ヨルダンには、広島県出身の隊員がいます。ぜひ、熱い思いと活動を紹介させてください。



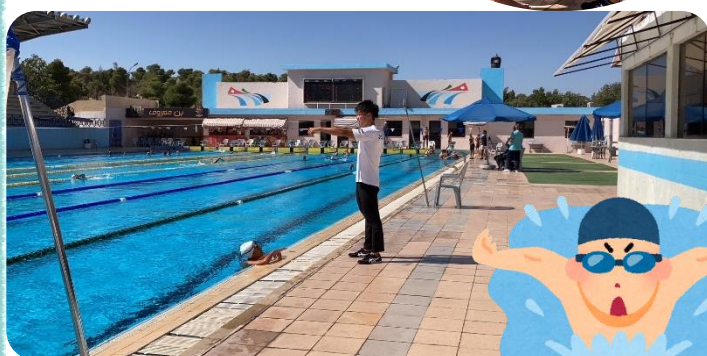
サイードさん、広島県出身。最近ではジムに通い、筋トレを行って、美しい体を作ることにハマっています。自炊をして、食べ物でも筋肉育成に励んでいます。

サイードさん、5歳から大学を卒業するまで没頭した水泳を通して、ヨルダンの未来を良くしたいと奮闘中！水不足のヨルダンで水泳に取り組む人自体が少ないながらも、懸命に選手の育成に取り組んでいます。



ヨルダンの水泳連盟に所属して、主に水泳のヨルダン代表チームで指導を行っています。

原爆や戦争を通して、平和についてよく考える広島県出身の一人として、これまで自分がやってきたことで世界を変えたいと思ったのがきっかけで協力隊になりました。スポーツを一生懸命がんばることで、結果や達成感から人々の幸せを作り出し、それが世界の平和に繋がると信じて活動しています。





先日、日本の福岡県で行われた世界水泳選手権にもヨルダン代表チームの一員として帯同していました。果たして結果は…？その他、サイードさんから見たヨルダンの世界が言葉巧みに愉快地にJICA公式ブログ「JICA海外協力隊の世界日記」で紹介されています。これまでに36件の執筆があり、全てホームページから読むことができます。



QRコードをスキャン
またはクリック！



JICA海外協力隊の
世界日記
JICA VOLUNTEERS WORLD DIARY



おな した 同じ空と月の下

8月の終わり、同じ月で2回目に見られる満月の日と今年最大の満月が見られる日が重なり、「スーパーブルームーン」と呼ばれる満月が見られました。*ブルームーンと名前がつきませんが、月が青く見えるわけではありません。この写真は、ヨルダンで見ることができたその日の満月です（写真を撮るのが上手な隊員マージダさんからもらいました）。きれいでした。

さてみなさん、月が地球に対して常に同じ表面を見せているって知っていましたか？
理科で学習したでしょうか。実は、地球にいる限り、どこから見ても同じ月の表面が見えるのです。それは、地球が回る速さとほぼ同じ速さで、月が自分で回転をしながら地球の周りを回るからです。ただし、北半球と南半球では上下左右が逆に見えます。例えば、日本とは反対側の半球にあるオーストラリアでは、日本で見える月がひっくり返って見えるというわけです。ヨルダンは、日本と同じ、北半球。同じ月面が見えます！「空はつながっている」とよく言いますが、世界で同じ月を眺めていると思うとさらに海外を近くに感じるのは私だけではないはずです。ただ、おもしろいのは、同じ月面でもその模様の捉え方が人それぞれ異なるということです。日本では月と言えばうさぎの模様がおなじみですが、インドではワニ、ヨルダンでは、なんとゾウという捉え方をすそうです。同じものでもそれぞれの文化や環境によって考え方、ものの見方がこんなにも違うのかと驚きました。でも、「ちがう」っておもしろいです。みなさんは、どんな模様に見えましたか？うさぎ以外にも見え方があって知って眺めてみると、ちがう生き物や模様が見えてくるかも…？夏が過ぎ、涼しくなり始めました。夜に空の星や月を眺めて過ごすのもよいのではないのでしょうか。世界はおもしろいことであふれていますよ！

